

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 Be smile カレッジ

保護者等数(児童数) 27 回収数 23 割合 85.1%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ			わからない
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	7		1	利用人数や活動内容によると思う	行政機関提出の定員(10名)に対してのスペースは確保されています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	5		1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	9		2	気に留めたことがなかったので今度確認します トイレのバリアフリー化を希望する	軽度障がい児に対しての支援をさせて頂いており、建屋構造的にバリアフリーは難しいと判断させて頂いております
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	4				主に社会への適応能力を高めるための学習と個々の基礎学習能力を高めるためのプログラムとなっています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	6		1		日々、ソーシャルスキルトレーニングの課題は状況に合わせて変えております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	10	5			昨年度より、コロナ感染予防の一環として、外部との交流活動を中断しております。コロナ感染が終息すれば、活動を再開いたします。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	3				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	2	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	9	7			コロナ感染予防の一環として密になる活動は中断しております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	2		1	経験がないのでわかりませんでした	ありがとうございます。 苦情というわけではありませんが、にぎやかすぎるという点はあるようです。 SSTなどで声の大きさや、もう少し小さく話してほしいなどそれぞれが伝えられる練習をしているところです。 ご理解お願いいたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	2				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	5	1			利用時の活動記録を含め発達ナビなどで公開させて頂いております。
14 個人情報に十分注意しているか	21	2					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	2				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	3			通所間もないのでわかりません	SSTにて避難訓練を何のためにするのかを知っていただき、その後避難訓練を実施させていただきました。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	7			指導の効果が目に見えて現れています 本人の問題です 人が集まる場所ではどこでもあると思いますが、集中したいときに集中することが難しいことがあるようです。(人との距離、声の大きさ)	ありがとうございます。 お子様に合わせた学習支援や社会適正能力向上に努めております。徐々に成果が表れる事で、保護者のみなさまには大変喜ばれております。
	18 事業所の支援に満足しているか	18	5			SSTを増やしてほしい まだいき始めたばかりなので	就労準備型放課後デイサービスとして、将来、働くをイメージしたSST学習を進めており、基本的にほぼ毎日SSTを行っております。それぞれの課題に対応できるよう資料を作成したり時間をいただくこともございます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関する
*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 Be smile カレッジ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		指導員を3名常時配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	施設は8階ですが、エレベーターがあります。	軽度障がい児に対しての支援をさせて頂いており、建屋構造的にバリアフリーは難しいと判断させて頂いております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画して保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		月1回また必要に応じて都度職員間で話し合いを行っています。	
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年に一度、評価表を行っております。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	ホームページに過去の結果も含め公開しています。	現在、外部評価は、受けておりませんが、同法人内の情報共有によって業務改善を図っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナ禍のため、計画どおりにいかないことがあります。オンラインでの参加もさせて頂いております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員間でケース会議を行い、個別支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		初回面談の際、独自資料を用意し、現状を把握するよう努めています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日職員間で話をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		イベントなどを定期的に行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		それぞれ適した課題を相談し、一緒に計画を立てています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団生活をメインに行っておりますが、それぞれのニーズに合わせて対応しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日など職員間で話し合いを行い、大まかな担当を決め対応しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で様子など共有を行い、日報に残しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日報として記載して残しております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の支援記録から振り返りを行い、定期的にモニタリングを行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		集団活動やSST、イベントを組み合わせ合わせて支援しております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者のみなさま経由で行事予定などを知らせていただいております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者のみなさまから初回面談にて状況をお伺いし書類に残しております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業後の進路に、情報を共有するよう努めております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関とは現在連携しておりませんが、必要に応じて連携していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			現在はコロナ禍のため機会が作れませんが、今後積極的に計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		コロナ禍のため中止なることもありますが、淀川区自立支援協議会こども支援部会に参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やLINE・メール・電話を使用し、状況共有をさせていただいております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		都度、ご相談の際にはお家でのかわり方など具体的なアドバイスなどさせていただいております。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、書面にて可能な限り丁寧に説明を行っております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う	○		電話やLINE、メールにて随時お話を伺い、できる限りお話をさせていただいております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会の設立に向けて計画を立てていましたが、コロナ禍で計画を進められていません
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者と責任者を設置しております。またその内容に関しては契約時にお伝えさせていただいております。	保護者様との連携は重要とです。適時、保護者様との面談や連絡を進めております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		今後、Be smile カレッジ通信を作成予定です。	HPなどで日頃の活動状況及びリタニコ発達ナビなどを活用し情報の公開に努めております。
	35	個人情報に十分注意している	○		職員は個人情報に関する誓約書を雇用契約時に行っております。また保護者のみなさまには契約時に個人情報について説明し、署名をいただいております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚優位、聴覚優位など考慮し対応しております。重要事項説明書等に関してはルビを記載したものを用意しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナ禍のため実施しておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルを作成し、室内に掲示、ファイル保管するとともに職員への周知をしています。 また、利用契約時にも説明させていただいております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に防災訓練を行っております。 また、職員間で担当を決め、月1回消防点検を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止委員会を設置しております。	
	41	このほか、個別に子どもや障害のある子どもについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	利用契約時に重要事項説明書で説明させていただいております。 現在対象の利用者はいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者の方にアレルギーの確認をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	発生したヒヤリハットはその日のうちに記載し、職員間で共有しております。	